

令和7年4月

石巻市

石巻地区西部
南境地区

内水
ハザードマップ

Ishinomaki City NAI SUI Hazard Map

知る

考える

備える

04 避難に関する情報

避難所などについて

浸水発生時の避難先について、市では次の2つに分類して指定しています。各避難先の特徴を知り、自宅や勤務先から最も近い避難先を確認するようにしましょう。

指定避難所	指定緊急避難場所
災害発生後、被災者が一定期間滞在して避難生活するための施設	災害から命を守るために緊急に避難する施設または場所

避難行動の種類

内水氾濫では、家屋の倒壊などの危険が少ないことや短時間で浸水が発生することから、「水平避難（立ち退き避難）」だけでなく、「垂直避難（屋内安全確保）」も有効な避難行動です。ご自宅周辺で予想されている浸水の範囲や浸水の深さを確認し、いざというときの行動を決めておきましょう。

水平避難（立ち退き避難）

- 避難先は、市が開示する指定避難所だけではなく、安全な地域の「親戚・友人宅への避難」等も有効な手段です。
- 普段からどこへ避難するか家族で決めておきましょう。

垂直避難（屋内安全確保）

今いる場所の近くで安全な高い位置に避難するのが「垂直避難」です。既に内水氾濫が発生しているときには垂直避難が有効です。ただし、洪水氾濫の発生が予想されるときには、早めに水平避難を行いましょう。

- がけがそばにある場合などは、できるだけ、がけから離れた反対側の部屋に避難しましょう。
- 夜間や急激な降雨により外に出ることがあてはまらない危険な状況では、垂直避難をしましょう。

避難時の心得

- 原則、徒歩で避難する！
- 海岸や河川には近づかない！
- 独自の判断で戻らない！
- 移動は二人以上で、助け合って避難を！
- 浸水時に長靴は厳禁！
- 浸水時は足元に注意！

01 はじめに

防災・減災対策の基本は、自分の命は自分で守る「自助」、地域の安全は地域で守る「共助」、行政が取り組む「公助」をバランスよく高めていくことにあります。

防災力の向上には、皆さん一人一人の強い防災意識が必要です。

自助	共助	公助
一人一人の自覚に根ざした自助 「自分の命・財産は自分で守る」	地域コミュニティなどによる共助 「隣近所での協力」	行政による公助 「市が進める災害対策」

内水ハザードマップの使い方

内水ハザードマップは、大雨のときに下水道や水路などから水があふれる「内水氾濫」に備えるものです。浸水が想定される範囲や深さ、避難所、避難に関する情報などを記載しています。

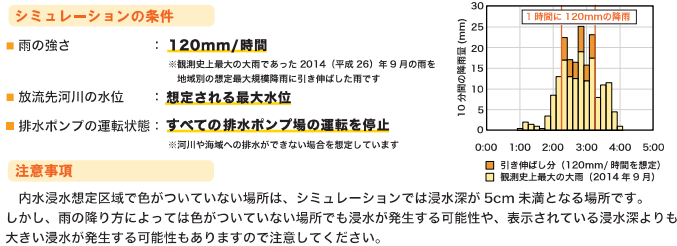
皆さん一人一人が、災害について「知る」こと、「考える」ことで、もしもの災害に「備え」ましょう。

01 知る	02 考える	03 備える
石巻まちづくりマップ	内水	防災訓練

まずは、自宅や学校、勤務先周辺の浸水想定区域、避難先、避難経路などを確認し、知っておきましょう。なお、自宅などの浸水深は石巻まちづくりマップで確認できます（上のQRコードからアクセス）。

内水浸水想定区域とは

内水浸水想定区域は、大雨が降ったときに下水道や水路からの浸水が想定される区域です。本ハザードマップでは下水道計画区域を対象にシミュレーションを行い、内水浸水想定区域図を作成しています。下水道施設は復興事業による下水道幹線・ポンプ場が完成した状態、雨や放流先の状態は次のとおりとしています。



05 警戒レベル・防災情報の入手先

警戒レベルと避難行動

警戒レベルとは、災害発生時の危険度と、とるべき避難行動を、住民の皆さんが直感的に理解するための情報です。「自らの命は自らを守る」意識を持ち、発表される5段階の警戒レベルや防災気象情報を参考に自らの判断で避難行動をとります。

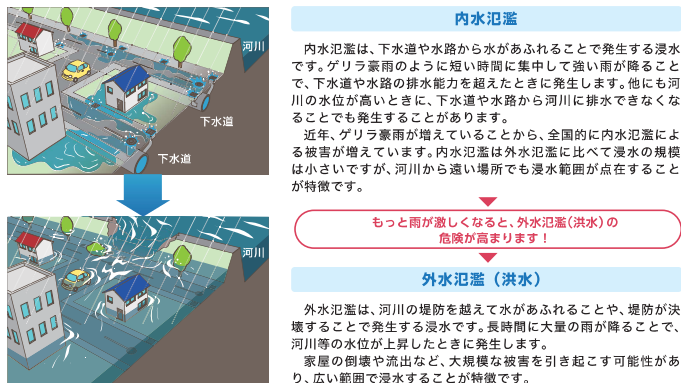
警戒レベル	市町村の対応	住民がとるべき行動	防災気象情報	気象状況
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！	大雨 特別警報	氾濫 発生情報
4	避難指示	危険な場所から全員避難	土砂災害 警戒情報	氾濫 危険情報
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難	大雨警報 洪水警報	氾濫 警戒情報
2		自らの避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	氾濫 注意情報
1		災害への心構えを高める	早期注意情報（警戒情報の可能性）	

防災情報の入手先

気象情報・災害情報など	避難情報・災害情報など	避難情報・災害情報など
TV	防災行政無線	防災ラジオ
PC・スマートフォン	LINE	X(旧Twitter)・Facebook
石巻市ホームページ	緊急連絡メール・エリアメール	災害メール
災害時の情報収集にご協力ください！		

02 内水氾濫のメカニズムや雨の強さと降り方

内水氾濫と外水氾濫（洪水）の違い



雨の強さと降り方

予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
人の寝るイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	傘をさしても濡れる	傘は全く役に立たなくなる		
屋内（木造住宅を想定）	雨の音で話し声が良く聞き取れない		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		
車に乗っていて	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険		

06 災害に備えて①

避難時の非常持出品の例

- 日頃から準備し、避難するときにすぐに持ち出せる場所（玄関先など）に保管しましょう。衣類などの非常持出品は季節によって入れ替えをしましょう。
- 両手が使えて固定しやすいリュックサックなどに入れておきましょう。重さは男性15kg、女性10kgが目安です。すぐに避難できるように必要最低限のものを準備しましょう。

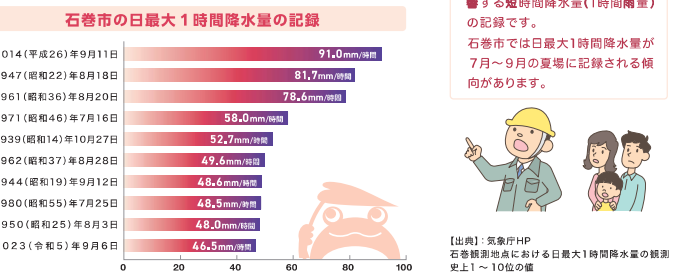
食料品	衣類など	貴重品
飲料水 非常食	上着・下着 タオル 厚手の衣類（防寒着）	ブランケット 土履き
日用品など	小さな子どもや高齢者がいる家庭では	ペットのいる家庭では
懐中電灯（予備電池・電球） 携帯電話 充電器 洗面用具 モバイルバッテリー	ティッシュ ビニール袋 救急用品 ウェットティッシュ トイレトイペーパー	ミルク 流動食 おしり拭き 離乳食 紙おむつ 使い捨て哺乳瓶 母子手帳 抱っこひも 子どもの靴 防災ブザー 携帯用スプーン・フォーク
その他		

在宅避難時の備蓄品の例

食料品	日用品	ライフラインの代替品・その他
飲料水 非常食	衛生用品（タオル・ティッシュなど） 洗面用具（歯ブラシなど） 救急用品 医薬品 携帯トイレ 紙皿・割り箸	ガスコンロ ランタン 懐中電灯（予備電池・電球） 予備の乾電池 ポリタンク ソーラー充電器 ポータブル電源

03 過去の大雨とハザードマップについて

過去の大雨



2019（令和元）年10月に大型で非常に強い台風19号が石巻市を直撃し、11日～13日の3日間で247mmの降水量（平年10月の月間降水量の約2倍）が観測されました。一雨の総降水量として過去最大クラスのこの雨で、洪水や土砂災害などを伴う様々な被害が発生しました。

人的被害	住家被害
死者：3人 重傷者：1人 軽傷者：7人	全壊：3棟 半壊：280棟 一部破損：317棟
避難所開設状況	浸水被害
避難所数：28箇所 避難者数：2,218人	床上浸水：73棟 床下浸水：8,864棟

石巻市の他のハザードマップ

石巻市では、内水ハザードマップの他にもハザードマップを作成しています。



07 災害に備えて②

ご家庭でできる浸水対策

浸水深が浅いときは、ご家庭にあるものを使って、水の侵入を減少させることができます。日頃から、浸水を防ぐ用具を準備しておきましょう。

身近にある浸水を防ぐ用具例	逆流を防ぐ対策
プランターとレジャーシート	水を入れたビニール袋と段ボール箱の組合せ
ポリタンクとレジャーシート	ビニール袋で水をつくり、お風呂やトイレの排水口を一時的にふさぐことで下水の逆流を防ぎましょう。

日常からの備え

避難ルートの事前確認	床上浸水への備え
避難場所までのルートをあらかじめ決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。	床上浸水のおそれがある場合は、移動できる家財道具を2階などの高いところへ移動させましょう。

道路の側溝や雨水ますの点検・清掃

側溝や雨水ますに落ち葉やゴミが詰まっていないか確認しましょう。詰まっていたら取り除きましょう。

地域での災害対策

防災訓練	自主防災組織
市は、年に1度「総合防災訓練」を実施しています。これに合わせて各地域でも避難訓練や避難所開設訓練、炊き出し訓練などを行っていますので参加していきましょう。	災害発生時の避難では、声かけが非常に重要です。特に要配慮者の避難には地域住民による協力が必要です。町内会などに自主防災組織がありますので、参加して地域での防災力を高めましょう。